

組織目標管理シート

年度	令和5年度	(参考) 関連する総合計画に おける政策指標	市民の声をしっかりと聴く体制が整っていると思う市民の割合/大学等新規学卒者の県内就職率/地域コミュニティ協議会における活動状況・人員体制・財政状況などの自己目標達成度/日頃から災害に対する備えをしている市民の割合	作成日	R5.4.1
組織名(部)	江南区	組織名 (準部・課・機関名)	地域総務課	評価日	R6.3.31

○:達成
△:一部未達成
×:未達成

No.	組織目標	総合計画(実施計画)上の位置づけ	指標		主な取組(事業)		評価	目標達成状況	今後の方針
			取組指標	R5目標	R5結果	取組名称(事業名)			
1	高度化・複雑多様化する行政課題を市民の視点で考え、解決することができる職員を育成します。また、急激に変化する経済社会状況や将来起こりうる課題に対応できる職員育成に取り組みます。	行財1-4-①	研修の実施回数	年6回以上	年6回	各種職員向け研修の実施	時代に即した各種職員研修を実施するとともに研修への参加を促し、職員の資質向上及びスキルアップを目指します。	○ ・前期4回、後期2回、職員研修を実施しました。 研修実績 6/9転入者向け研修 7/26区長随行研修 7/28越佐にんげん学校 8/2メンタルヘルスセミナー 11/7三区合同研修 1/24契約事務研修	引き続き、高度化・複雑多様化する行政課題や急激に変化する経済社会状況等に対応できる職員育成に取り組みます。
2	区の魅力発信や、特産品などの地域資源を活かした取組を通して、区の知名度を向上させるとともに、学生の移住・定住(Uターン)の促進に繋がります。	政策11-1-②	「ふるさと江南区宅配便」を送付(件)	100件	100件	「ふるさと江南区宅配便」の実施	区内企業と協働し、区出身の学生に向けて「ふるさと江南区宅配便」を送付するとともに、学生による区の魅力発信イベントを開催することにより、区の知名度向上と移住の促進に繋がります。	○ ・区内企業11社から物資の協賛を得て、10月に「ふるさと江南区宅配便」を県外に住む学生100名に向けて発送しました。 ・学生の交流機会創出と地元就職への意識向上につながることを目的に「ふるさと新潟サロン」を11月に横浜市で開催しました。	引き続き、区の魅力発信とともに、学生のUターンの促進に繋がる取組を検討・実施していきます。
3	住民自治の基盤となる地域団体として、地域住民が主体となり様々な取組を行う自治会・町内会や地域コミュニティ協議会の活動を支援します。	政策1-1-①	コミ協活動の活性化(地域活動補助金交付件数)	17件	18件	地域活動補助金	自治会・町内会や地域コミュニティ協議会、NPO団体などが、地域課題解決を図る活動を行う際に必要な経費の一部を補助し、多世代交流などさまざまな地域活動を活性化することで、市民との協働のまちづくりを進めます。	○ ・交付申請受付件数:21件(うち、3件取下げ) ・交付済件数:18件	引き続き、自治会・町内会や地域コミュニティ協議会の活動支援に取り組みます。
4	大規模な災害に対応するため、区民との協働により地域防災力を向上させます。	政策13-1-②	区内防災訓練実施件数(・ジュニアレスキュー隊育成講習会は中学校1校あたり1件とする。 ・自主防災組織推奨訓練内容を含む講座等の開催は1件とする。)	22件	44件	・自主防災組織への支援 ・自主防災訓練活性化研修会 ・江南区ジュニアレスキュー隊育成講習会の開催	自主防災組織や地域コミュニティ協議会等への防災訓練を支援するほか、区内公立中学校全6校でのジュニアレスキュー隊育成講習会や新しいカタチの防災訓練の開催等を通じて、若年層も含めた防災意識を啓発し、地域の防災力向上に努めます。	○ ・「江南区ジュニアレスキュー隊育成講習会」は、区内公立中学校全6校で開催済み。 ・自主防訓練34件。 ・コミ協避難所運営訓練4件 計44件	令和6年能登半島地震の振り返りを行った上で、引き続き地域防災力の向上に取り組みます。

組織目標管理シート

年度	令和5年度	(参考) 関連する総合計画における政策指標	区民生活課	・市民の声をしっかりと聴く体制が整っていると思う市民の割合	作成日	R5.4.1
組織名(部)	江南区	組織名 (準部・課・機関名)			評価日	R6.3.31

○:達成
△:一部未達成
×:未達成

No.	組織目標	指標			主な取組(事業)		評価	目標達成状況	今後の方針	
		総合計画(実施計画)上の位置づけ	取組指標	R5目標	R5結果	取組名称(事業名)				概要
1	市民の信頼と期待に応えられるよう、職員の市民対応の質を向上させるなど市民の視点を大切にしたい信頼される市政を推進していきます。	行財1-1-①	課内研修開催件数(回数)	35回	51回	職員の市民対応の質を向上させるための課内研修の開催	日頃の市民対応等を通じ、業務に関する根拠などを改めて確認することが必要と思われるものを、職員自らが見出し、それらをテーマとする研修を課内で開催します。	○	職員が講師をつとめる研修等を51回行い、業務に必要な知識を学びスキルを高めました。	今後も課内研修を積極的にを行い、職員の資質向上を図ります。
2	市民サービスの向上に向け、業務や窓口の改善を推進します。		改善実践件数	30件	48件	江南区役所窓口改善及び課内の改善活動の推進。	江南区窓口改善プロジェクトチームや課内の改善活動を通して課題を把握し、業務や窓口の改善を実践します。	○	市民サービスの向上や業務の効率化を中心に改善を48件行いました。	これからも窓口改善プロジェクトチームや課内の業務改善を進め、市民サービスの向上に取り組みます。
3	子どもや高齢者をはじめとして、区民が安心して暮らせる環境づくりを進めます。		区だよりへの啓発記事の掲載(回数)	4回	4回	区だよりを活用した安心安全に関する啓発の実施	区民の関心の高い内容やタイムリーな内容をテーマにわかりやすい記事を作成します。	○	自転車5則や防犯についての記事等を4回掲載しました。	安心安全なまちづくりのために引き続き関係機関と連携しながら啓発活動を充実させます。
4	環境保全・環境美化に対する意識を高めるため、美化推進活動に取り組みます。		ボランティア清掃実施件数	65件	80件	江南区美化推進活動	環境保全・環境美化に対する意識を高めるため、区民、事業者、行政が連携して行う地域一斉清掃や自治会・町内会等が実施するボランティア清掃を推進します。	○	自治会・町内会等の活動を支援した結果、80件のボランティア清掃が実施されました。	区民の環境保全・環境美化に対する意識を高めるためにこれからも自治会・町内会等の活動を支援します。

組織目標管理シート

年度	令和5年度	(参考) 関連する総合計画に おける政策指標	市民の声をしっかりと聴く体制が整っていると思う市民の割合	作成日	R5.4.1
組織名(部)	江南区	組織名 (準部・課・機関名)	横越出張所	評価日	R6.3.31

○:達成
△:一部未達成
×:未達成

No.	組織目標	指標			主な取組(事業)		評価	目標達成状況	今後の方針	
		総合計画(実施計画)上の位置づけ	取組指標	R5目標	R5結果	取組名称(事業名)				概要
1	市民の信頼と期待にこたえられるよう、職員の市民対応の質を向上させるなど市民の視点を大切にしたい信頼される市政を推進していきます。	行財1-1-①	各種研修会への参加及び職場内研修の実施回数	5回	5回	各種研修会への参加及び職場内研修の実施	職員の窓口対応能力の向上を図るため、各種研修会へ参加し、業務知識を共有するため参加した職員による伝達研修を行います。また、職員のスキルアップを図るため、職場内研修を実施します。	○	各種業務研修に参加し、参加した職員による伝達研修や、業務経験の浅い職員へ業務手順や間違いやすいポイントなどの実務研修を実施し、知識の共有化とスキルアップを図りました。	知識の共有化、業務のスキルアップを図るため、職員の研修参加と伝達研修を実施していきます。
2	業務改善を推進し、質の高い窓口サービスを提供します。		業務改善件数	3件	3件	業務改善の推進	窓口サービスの向上と働きやすい職場環境を目指した業務改善を推進します。	○	執務室内のレイアウトの変更や、業務チェックリスト・業務マニュアルを作成し、業務の効率化、迅速化を図りました。	業務改善を推進し、質の高い窓口サービスを提供していきます。
3	市民の利用しやすい施設運営に努めます。		掲示板を活用した情報提供回数	24回	24回	掲示板を活用した情報提供	掲示板を活用し、市民が必要とする情報・市が伝えたい情報等を提供します。	○	掲示板を定期的に更新し、市の催しや地域のイベント等の情報提供を行いました。	市民が必要とする情報・市が伝えたい情報等を提供していきます。

組織目標管理シート

年度	令和5年度	(参考) 関連する総合計画における政策指標	仕事に対する職員満足度/障がい者を理由として差別・暮らしにくさを感じたり、いやな思いをしたことがない障がい者の割合/住み慣れた地域で安心して暮らしていることができると思う高齢者の割合/新潟市は子育てしやすいまちだと思ふ保護者の割合	作成日	R5.4.1
組織名(部)	江南区	組織名 (準部・課・機関名)	健康福祉課	評価日	R6.3.31

○:達成
△:一部未達成
×:未達成

No.	組織目標	指標			主な取組(事業)		評価	目標達成状況	今後の方針	
		総合計画(実施計画)上の位置づけ	取組指標	R5目標	R5結果	取組名称(事業名)				概要
1	高度化・複雑多様化する行政課題を市民の視点で考え、解決することができる職員を育成します。また、急激に変化する経済社会状況や将来起こりうる課題に対応できる職員育成に取り組みます。	行財1-4-①	研修の実施回数	年6回以上	18回	各種職員向け研修の実施	時代に即した各種職員研修を実施するとともに研修への参加を促し、職員の資質向上及びスキルアップを目指します。	○	7係ごとに年間1回以上の係内研修を実施することを目標とし、合計18回の研修を実施することができました。	引き続き職員の資質向上及びスキルアップを目指し、効果ある研修を実施します。
2	就職が難しい障がいのある人に対応した就労の場の確保や、福祉施設の工賃増額への取組を促進します。	政策7-2-③	マッチングシステムの活用による区内商・農業者との新規成約件数	2件	2件	担い手となる組織の立ち上げとマッチングシステムの構築	商・農業者と障がい福祉事業所による連携体制を構築し、仕事の受注、魅力ある授産品の開発や販路の拡大などを通じて、就労が難しい障がいのある人に対応した就労の場の確保や工賃増額に向けた取り組みを促進します。	○	商業、農業、福祉関係者による推進連絡会を設置しました。推進連絡会議(3回)と研修会(2回)を開催。マッチングシステム構築により2件の成約目標を達成しました。	委託業者と連携し、福祉施設の現状把握、マッチングの仕組みづくりの課題検証を行い、成約の増加に取り組みます。
			授産品開発件数	2件	2件	魅力ある授産品の開発とプロモーション			既存の商農福の商品を組み合わせたセット商品として販売したものを1件、亀田綿加工品の開発1件に取り組み、合計2件の商品を開発しました。	推進連絡会の意見を踏まえ、新たな授産品開発を進めます。
3	地域の中で、認知症高齢者を支援したい人、子育てを応援したい人を掘り起こし、地域全体で認知症高齢者や子育てを見守ることで、高齢者や子育て世代を支え、安心して暮らせる地域を実現します。	政策7-1-②	見守り隊メールの登録者数	250人	269人	見守り隊メールによる不審者情報、徘徊高齢者の特徴等の情報発信	福祉関係者のみならず自治会、コミ協、自治協をはじめ、商工業、農業関係者、市民に対して、地域を見守る目と見守る心の意識づけを行うことで、子育て世代、高齢者が安心して暮らせる地域づくりを目指します。	○	3月末時点で269名からメール登録いただき、目標を達成しました。	見守り隊メールと同様な内容を持ち、迅速性かつ汎用性に優れたアプリへの移行を進めます。
			子育て応援団への新規登録者数	30人	65人	地域で子育てを応援したい方に「江南区子育て応援団」に登録してもらい、江南区親善大使を活用した応援団バッジを配布			3月末時点で65名の新規登録がありました。(合計登録者数は523名)7月2日号の区だよりで事業の周知と登録について掲載。11月2日重点事業推進連絡会にて、商業・農業・福祉関係者へ周知。またタクシー会社へも周知目標を達成しました。	今後も登録者の増加を目指し、必要な周知を行います。
4	障がい者が制作したアート作品を活用し、障がい者への理解を深めるとともに、共生社会についての機運醸成を図ります。	政策1-3-②	アンケート結果の評価	4.0点以上	4.95点	障がい者アートの展示による共生社会の周知および啓発活動の実施	福祉施設や特別支援学校等が集積した江南区の地域特性を生かし、障がい者に対する理解促進の取組を進め、共生社会実現に向けたまちづくりを行います。	○	7/27,9/7に推進連絡会議を開催。10/15こうなんふれ愛まつりの一環としてアート展を開催し11/15まで展示。その後12/1から12/27まで巡回展示を行い目標を上回る平均4.95点の評価をいただきました。	次年度も今年度の取り組みを活かした企画展示に取り組みます。

組織目標管理シート

年度	令和5年度			(参考) 関連する総合計画における政策指標	・地域団体、民間事業者、学校など多様な主体との協働数	作成日	R5.4.1
組織名(部)	江南区	組織名 (準部・課・機関名)	産業振興課			評価日	R6.3.31

○:達成
△:一部未達成
×:未達成

No.	組織目標	指標			主な取組(事業)		評価	目標達成状況	今後の方針	
		総合計画(実施計画)上の位置づけ	取組指標	R5目標	R5結果	取組名称(事業名)				概要
1	歴史ある亀田縞など地域に根差した産業の振興と活性化に向けた取り組みを推進します。	政策8-1-④ 行財3-2-②	亀田縞の区内での活用を推進する取り組み数(事業)	3	4	・地域ブランド亀田縞を活かしたまちづくり	総合学習への支援や情報紙発行などにより地域ブランドとしての認知度向上を図ります。また、亀田縞の利用拡大と、地域アイデンティティとしての醸成を促進します。	○	タペストリーの設置、亀田縞と区の魅力を発信する情報紙発行、亀田縞を使った空間づくり事業の実施、新潟大学創生学部と連携により、認知度向上や活用推進に取り組みました。	引き続き、亀田縞の認知度向上や活用促進に取り組むとともに、にいがた2kmの企業と連携して、若年層向けの2ndラインの立ち上げなどのブランディング戦略やプロモーションを実施します。
2	地域コミュニティの一端を担う商店街などの地域商業の振興を図るとともに、地域に根差した歴史、文化、まちなみ、郷土芸能などの地域の宝を活用することで交流人口の拡大と地域商業の活性化を推進します。	政策8-1-④ 行財3-2-②	商工観光への支援に関する取り組み数(事業)	2	2	・地域商業活性化支援	商業関係者などとともに区内の個店を巡るような取組みや、地域の歴史あるイベントへの支援を通じて、区全体の商業の活性化を進めます。	○	区内事業者の活性化に向け、スタンプラリーとサンキューマルシェを実施しました。	商業関係者らによる実行委員会に参画し、区内全体の商業の活性化につながる取組を行います。マルシェは亀田三・九の市に加えて、他の地域における活性化に資する取組を進めます。
3	亀田総合体育館を中心とした江南区体育施設の利用者に満足度の高いサービスを提供し、スポーツの振興を推進します。	政策3-1-②	利用者アンケートの満足度(%)	良好以上の評価割合 両館合わせて80%以上	良好以上の評価割合 両館合わせて81.1%	・指定管理者による施設管理	各体育施設については、より良好な管理を目指し、施設利用者アンケートの実施などを通じて市民サービスの向上につながるよう取り組みます。	○	良好な施設管理に努め、目標を達成しました。	引き続き、良好な施設管理に努め、市民サービスの向上を目指します。
4	江南区の農業の特性を活かし、区民がより「農」に親しむことで、地元生産者や農産物への理解を深めるとともに、更なる地産地消の推進を図る取り組みを進めます。	政策9-2-② 行財3-2-②	江南区産農産物のPR等の取り組み回数(回)	4	4	・江南区まるごとプロモーション事業	農業者や加工業者による、江南区産農産物のPRや新商品の開発等を支援し、更なる地産地消を推進します。	○	新潟市サポーターズグラウンドパーティでのPR、梅まつりを実施したほか、農業者と協働で取り組む企画を2事業実施しました。 ※協働企画:①自然栽培米・味噌、②果実ビール	市街地に農地が隣接している江南区の特性を活かして、生産者や地元農産物への理解を深め、地産地消の推進につながる企画を進めます。
5	地域農業の高齢化や後継者不足に対応し、将来の農業のあり方について地域での話し合い活動を推進します。	政策9-1-③	農地中間管理機構を活用するため、地域で話し合い活動を進めていく地区数(今年度開始地区)	3	1	・人・農地プラン推進事業	地域農業の将来像を見据えたうえで、地域における担い手への農地集積と活用を進める取り組みを行います。	△	圃場整備予定地域に亀田郷土地改良区とともに話し合いに入る予定であったが、能登半島地震発災により、集落へ話し合いへ伺えなくなった。	引き続き、地域の担い手への農地集積と活用を進める取り組みを推進します。

組織目標管理シート

年度	令和5年度	(参考) 関連する総合計画における政策指標	・市民の声をしっかりと聴く体制が整っていると思う市民の割合	作成日	R5.4.1
組織名(部)	江南区役所	組織名 (準部・課・機関名)	建設課	評価日	R6.3.31

○:達成
△:一部未達成
×:未達成

No.	組織目標	指標			主な取組(事業)		評価	目標達成状況	今後の方針
		総合計画(実施計画)上の位置づけ	取組指標	R5目標	R5結果	取組名称(事業名)			
1	市全体や区の持続的な発展に繋がる計画的な土地利用を図ります。		公共施設整備の手法検討	公共施設整備の手法検討	公共施設整備の手法検討	(仮称)江南駅設置に伴う公共施設整備の手法検討	(仮称)江南駅周辺土地区画整理事業による新駅と合わせて、公共施設整備の手法を検討する。	○ (参考)公共施設イメージ ・駅前広場・P&R ・中央環状道路(の歩道) ・亀田跨線橋	・引き続き開発事業や新駅設置に必要な公共施設整備の検討を進める。
2	複雑化、多様化する区民ニーズや課題に対して、質の高い行政サービスを提供します。		3日以内での対応率(%)	100%	100%	区民対応の迅速化	窓口や電話、メール等での突発的な区民からの苦情・要望に対して、対応方針を開庁3日以内に伝えるなど迅速・丁寧に対応する。	○ ・苦情・要望(314件)を迅速・丁寧に対応し目標を達成した。 ・「苦情等受付簿」を作成し、毎月に対応状況を集計し管理した。	・引き続き、苦情・要望を迅速・丁寧に対応し、質の高い行政サービスを提供します。
3	区民要望の速やかな実現と施工時期の平準化を図るため、工事の早期発注を行います。		上半期発注率(%)	80%	99%	工事の早期発注	年間発注予定件数70件(まちづくり班12件、維持係58件)	○ ・当初予定工事の99%(69/70)を発注した。 ・発注状況を、毎月の進捗会議で管理した。	・引き続き、区民要望の早期実現に向けて取り組みます。
4	高度化・複雑多様化する行政課題を市民の視点で考え、解決することができる職員を育成します。また、急激に変化する経済社会状況や将来起こりうる課題に対応できる職員育成に取り組みます。	行財1-4-①	研修会実施回数(回)	4回	4回	職員の能力開発、キャリア育成	職員の専門知識、技術力及び説明能力の向上を図る研修会実施する。	○ ・研修会を4回実施済。(延べ89名) ・研修内容について受講者よりのアンケートを実施し、講師へ評価を周知した。	・引き続き、高度化・複雑多様化する行政課題や急激に変化する経済社会状況等に対応できる職員育成に取り組みます。